



エナパック

N86 W12500 Westbrook Crossing

Menomonee Falls, WI 53051

電話 : 011-1(262) 293-1500

FAX : 011-1(262) 293-7040

Safety Data Sheet : 安全データシート

発行日 : 2013 年 2 月 11 日

改訂日 : 2023 年 11 月 21 日

1. 物質／製剤の特定および、会社／事業の特定

製品番号、製品名

耐摩耗 HF ブルー 150 ハイドロリック・オイル

CM45885 HF104 (ドラム)、HF 102 (ガロン 2 個組)、

HF101 (ガロン)、3KD75 (ガロン)、HF100 (1/4 ガロン)、

3KD76 (1/4 ガロン)

その他の特定方法

製品コード: 159

改訂番号 : 2661

異名: 無し

化学物質の推奨使用方法と使用にあたっての制限

推奨される使用方法 潤滑油

使用が勧告されている対象物 利用可能な情報は無い

安全データシートの製造者の詳細

製造業者住所

U.S. Lubricants A Division of U.S. Venture, Inc. 425 Better Way Appleton, WI 54915

緊急用電話番号

海外の会社電話番号 011-1 (800) -490-4900

24 時間対応緊急連絡用電話番号 011-1 (800) -424-9300 (CHEMTREC 705487)

日本国内緊急連絡先 048- (662) -4911

輸入者: エナパック株式会社

住所: 埼玉県さいたま市北区別所町 85-7

2. 危険有害性の特定

分類

皮膚感作物質	カテゴリー 1
--------	---------

未確認毒性

急性毒性、経口	0.0%
急性毒性、経皮	0.0%
急性毒性、吸入、気化ガス	0.3456%
急性毒性、吸入、粉塵もしくはミスト	0.3456%

表示する要素

緊急措置の概観

警告

危険有害性情報

皮膚のアレルギー反応を起こすことがある。



外観 粘性

物理的状态 液体

臭気 軽い石油臭

使用上の注意 - 予防

粉塵、煙、ガス、ミスト、気化ガス、スプレーを吸い込まないようにする。

汚染された作業着は作業場所から決して持ち出してはならない。

防護用手袋を着用する。

対応

皮膚に付着した場合：

大量の水で洗う皮膚の炎症が続く場合には、医師の治療を受けること。

廃棄

適用可能な法および規制に従って、廃棄時の製品の特性により、適切な処理施設あるいは廃棄施設に、内容物と容器を処分する。

- ・ 長期の持続的影響を伴った水生生物に対する有害性
- ・ 水生生物に対する有害性

3. 組成及び成分情報

化学物質の名称	CAS 番号	種別	管理番号	重量-%
石油蒸留物、水素化重質パラフィン	64742-54-7	対象外	-	90-99
アルキルジチオリン酸亜鉛	4259-15-8	対象外	-	< 1

4. 応急措置

応急措置

目に入った場合	たっぷりの水で 20 分間以上、下まぶたと上まぶたを持ち上げながら完全に洗浄する。医師の診察を受ける。
皮膚に付着した場合	たっぷりの水で 20 分間以上完全に洗浄する。皮膚の炎症が続くようなら医師を呼ぶ。汚染した服は洗ってから再使用する。洗剤と水で洗う。
吸入した場合	新鮮な空気が呼吸できる場所に移動する。呼吸困難があれば酸素吸入を行う。被害者が呼吸していない場合には、人工呼吸のみを使用する。症状が続くようなら、医師の治療を受ける。
飲み込んだ場合	吐かせたりしてはならない。医師の治療を受ける。水を 1、2 杯飲む。

最も重要な症状と影響には、急性と遅発性の両方がある。

症状	利用可能な情報は無い。
----	-------------

すぐに医師の治療と特別な処置が必要であることを指示。

医師に対する注意	対処療法により治療する。
----------	--------------

5. 消火方法

適切な消火剤

現場の状況と周囲の環境に適した消化方法を使用する。大火：散水、噴霧、もしくは標準的泡消火剤。小火；粉末消火剤、CO₂、散水もしくは標準的泡消火剤。

不適切な消火剤	警告: 消火に当たっての散水の使用は十分な効果が得られない可能性がある。ウォータージェットは使ってはならない。
---------	---

化学物質が原因の特定の危険有害性

利用可能な情報は無い。

爆発データ

機械的衝撃への感度 利用可能な情報は無い。

静電放電に対する感度 利用可能な情報は無い。

保護装置と消火のための予防策

どのような火事においても、自給式呼吸器装備圧力調整、MSHA/NIOSH（認可品もしくはそれと同等）の全身防護服を着用する。

他とは異なる火災と爆発の危険性

燃焼や爆発の熱によって有毒な煙（一酸化炭素など）が発生する可能性がある。密閉容器が加熱すると圧力が増加することがある。華氏 120° F 以下で保管する。

6. 偶発的放出の対抗策

個人的な予防策、防護装置および緊急時対応

個人用予防策	所定の個人用防護装置を使用する。 十分な換気が確実に行われるようにする。 特に密閉区域では注意する。危険を冒さず漏出を止めることができるなら、漏出を止める。流出している場所を歩かない。
--------	--

環境予防策

環境予防策	権限の無い人員を近づけない。常に風上にいる。追加的エコロジ—情報に関しては第 12 項を参照
-------	--

封じ込めと浄化の方法と物質

封じ込めの方法	安全に実行できるという場合には、さらに漏れ出すのを防ぐ。
浄化方法	不活性吸着剤を使って吸い取る。製品が下水に入るのを防ぐ。 拾い上げて、適正なラベル表示をした容器に移す。
二次的災害の防止	環境規制を順守しつつ、汚染された物質や区域を完全にきれいにする。

7. 取扱いと保管

安全な取扱いのための注意事項

安全な取扱いに関するアドバイス	良好な産業衛生および安全作業法に従って取り扱う。煙、ミスト、気化ガス、スプレーなどを吸い込まないようにする。
-----------------	--

安全な保管条件、配合禁忌を含む

保管条件	熱や、火花、炎、その他の点火源（種火、電動機、静電気など）から離しておく。容器は、乾燥していて涼しく、十分な換気がされている場所に密封して保管する。容器は軟鋼もしくは高密度ポリエチレン容器を使用する。ポリ塩化ビニールは使用してはならない。華氏 120° F 以下の温度で保管する。
配合禁忌物質	酸化剤との配合禁忌強酸および強塩基との配合禁忌

8. 暴露管理／人員の保護策

コントロール・パラメーター

暴露ガイドライン

化学物質	種類	暴露限界値	暴露源
石油蒸留物、水素化重質パラフィン	TWA	5 mg/m ³	ACGIH
トルエン	TWA	20 ppm	ACGIH
キシレン	PEL 長期	435 mg/m ³ ; 100 ppm	-
キシレン	REL 長期	435 mg/m ³ ; 100 ppm	-
キシレン	TLV 長期	435 mg/m ³ ; 100 ppm	-
エチルベンゼン	TLV 長期	87 mg/m ² ; 20 ppm	-

生物学的限界値

化学物質	種類	暴露源
トルエン(o-クレゾールと加水分解：サンプリング時間：シフト終了時)	0.3 mg/g (尿中クレアチニン)	ACGIH BEI
トルエン (トルエン：サンプリング時間：週労働の最後のシフトの前)	0.02 mg/l (血中)	ACGIH BEI
トルエン (トルエン：サンプリング時間：シフト終了時)	0.03 mg/l (尿中)	ACGIH BEI
キシレン (メチル馬尿酸：サンプリング時間：シフト終了時)	1.5 g/g (尿中クレアチニン)	BEI
エチルベンゼン (マンデル酸とフェニルグリオキシル酸：サンプリング時間：週労働の最後のシフト終了時) (エチルベンゼン：時間制限無し)	0.7 g/g (尿中クレアチニン) 0.7 g/g (最後に吐き出した空气中)	BEI

適正な工学的管理

工学的管理	シャワー 洗眼場 換気装置
-------	---------------------

個人の保護策、個人用防護装置など

目／顔の保護	側面遮蔽のある保護眼鏡（もしくはゴーグル）の着用
皮膚および身体全体の保護	ニトリルもしくはネオプレン™保護手袋の装着。 良好な産業衛生基準を使用する。 皮膚が接触するのを避ける。 もし接触した場合には、影響を受けた場所を石けんと水で洗う。
呼吸器の保護	標準的な使用条件では保護装置は必要ない。 暴露限度を越えたり、刺激を感じたりした場合には、換気や避難措置が必要になることがある。
全体的な衛生状態に関する考慮事項	この製品を使用している時に飲食や喫煙をしてはならない。

9. 物理的特性および化学的特性

基本的な物理的特性と化学的特性に関する情報

物理的状态	液体	
外観	粘性	
色	青	
臭気	軽い石油臭	
臭気の基準値	利用可能な情報は無い	
特性	値	備考・方法
pH	基本的に中性	
融解点／凝固点	利用可能な情報は無い	
沸点／初留点	初留点 $\geq 482^{\circ}$ F (250°C)	推定値
蒸留性状	95%留出温度 878° F (469°C)	推定値
引火点	400° F (204°C)	
蒸発速度	0.01 未満(@1ATM and 25° C. n-butyl acetate=1)	
可燃性（固体、気体）	利用可能な情報は無い	
空気中での可燃性 可燃性上限値：	10%（推定値）	

可燃性下限値：	1%（推定値）	
蒸気圧	0.01 mm HG 未満	
蒸気密度	1 以上（大気=1）	
比重	0.860 lbs/gal: 7.11	
水溶性	水に溶けない	
その他の溶剤での溶解度	利用可能な情報は無い	
分配係数	利用可能な情報は無い	
自然発火温度	利用可能な情報は無い	
熱分解温度	利用可能な情報は無い	
動粘性率	30-34 cSt@ 40° C	
絶対粘度	利用可能な情報は無い	
爆発性	利用可能な情報は無い	
酸化性	利用可能な情報は無い	

その他の情報

軟化点	利用可能な情報は無い	
分子量	利用可能な情報は無い	
VOC（揮発性有機化合物）含有量（%）	微量	
密度	利用可能な情報は無い	
かさ密度	利用可能な情報は無い	

10. 安定性と反応性

反応性

該当せず

化学的安定性

推奨される保管条件において安定

危険有害反応の可能性

標準的工工程においては無い

危険な重合

危険な重合は起こらない

避けるべき条件

強酸化剤熱

炎、火花、極端な温度と直射日光

配合禁忌物質

酸化剤との配合禁忌

強酸および強塩基との配合禁忌

危険な分解生成物

熱分解によって、刺激性で有毒な気体や蒸気が発生することがある。

11. 有毒性情報

暴露が起こり得る経路に関する情報

製品情報	利用可能なデータは無い
吸入した場合	気化ガスやミストの吸入しない。 高密度の気化ガスを吸い込むと、呼吸器系に炎症が起きることがある。
目に入った場合	目に入ると炎症を起こすことがある。
皮膚に付着した場合	皮膚に付着すると充血や炎症を起こすことがある。
飲み込んだ場合	少量を偶然に飲み込んででも恐らく無害。 しかしながら、大量の場合には、吐き気や下痢が起きることがある。

化学物質の名称	経口 LD50	経皮 LD50	吸入 TCLo
アルキルジチオリン酸亜鉛	= 3100 mg/kg (Rat)	> 5000 mg/kg (Rabbit)	-
石油蒸留物、水素化重質パラフィン	> 15g/kg (ネズミ)	> 5 g/kg (ウサギ)	1000 mg/m ³ (4 週間)

有毒性の影響に関する情報

症状

利用可能な情報は無い

短期および長期の暴露による遅発性および急性の影響に加え、慢性的影響がある。

皮膚の糜爛／炎症	皮膚の刺激
重度の眼の障害／眼の炎症	眼への刺激

刺激	皮膚や眼の炎症を引き起こすことがある。 長期あるいは繰り返し皮膚への接触によって、乾燥肌や炎症が起きることがある。
感作	カテゴリー1 皮膚感作
胚細胞の突然変異誘発	利用可能な情報は無い
発がん性	利用可能な情報は無い
生殖毒性	利用可能な情報は無い
STOT - 1 回限りの暴露	利用可能な情報は無い
STOT - 度重なる暴露	利用可能な情報は無い
吸引危険有害性	利用可能な情報は無い

毒性の数値基準 - 製品情報

12. 生態学的情報

生態毒性

水生生物に対する長期に持続する影響を伴う有害性

混合物の0.01%が、水生環境に対する未確認の有害性を有する化学成分により構成されている。

化学物質の名称	藻/水生植物	魚	微生物への毒性	甲殻類
石油蒸留物、 水素化重質 パラフィン 64742-54-7	利用可能な 情報は無い	利用可能な 情報は無い		利用可能な 情報は無い
アルキルジチ オリン酸亜鉛 4259-15-8	EC 50 (緑藻、 3日): 410 mg/l NOEC (緑藻、3 日): 220 mg/l	LC 50 (ニジマ ス、4日): 4.4 mg/l NOEC (ニジマ ス、4日): 3.2 mg/l		EC 50 (ダフニ ア・マグナ、2 日): 75 mg/l NOEC (ダフニ ア・マグナ、2 日): 32 mg/l EC 50 (ダフニ ア・マグナ、21 日): >0.8 mg/l NOEC (ダフニ ア・マグナ、21 日): 0.4 mg/l

持続性と分解性

化学物質の名称	分配係数
アルキルジチオリン酸亜鉛 4259-15-8	Log Kow: 3.6

その他の有害事象

利用可能な情報は無い

13. 廃棄に関する考慮事項

廃棄物処理方法

廃棄物処理	廃棄物は、地域、国、および現地の適用可能な法と規制に従って行わなければならない。
汚染した包装類	容器を再使用してはならない。

14. 処理に関する情報

DOT 規制対象外

ICAO (大気) 規制対象外

IATA 規制対象外

15. 規制に関する情報

国際的インベントリー

TSCA	この物質の化学成分は全て、US TSCA インベントリーの規制除外品である。
DSL/NDSL	全ての化学成分は、カナダ環境保護法に準拠しており、国内物資リストに入っている。
EINECS/ELINCS	準拠
ENCS	準拠
IECSC	準拠
KECL	準拠
PICCS	準拠
AICS	準拠

凡例

TSCA - 米国有害物質規制法第 8(b)項 インベントリ

DSL/NDSL - カナダ国内物資リスト／非国内物資リスト

EINECS/ELINCS - 欧州既存商業化学物質インベントリ／欧州届出化学物質リスト

ENCS - 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

IECSC - 中国現有化学物質名録

KECL - 韓国既存化学物質リスト

PICCS - フィリピン既存化学物質インベントリ

AICS - オーストラリア化学物質インベントリ

米国連邦による規制

SARA 313

1986 年のスーパーファンド改正・再承認法 (SARA) 第 3 章 313 項。この製品には、連邦規則集第 372 部 40 項で報告を必要とすると定めている化学物質は全く含まれていない。

化学物質の名称	CAS 番号	種別	管理番号	SARA 313 - 基準値 %
アルキルジチオリン酸亜鉛	4259-15-8	対象外	-	1.0
トルエン	108-88-3	第一種	300	1.0
キシレン	1330-20-7	第一種	80	-
エチルベンゼン	100-41-4	第一種	53	-

SARA 304 緊急放出の通知

化学的同一性	CAS 番号	種別	管理番号	重量パーセント	報告対象量
トルエン	108-88-3	第一種	300	<.01%	1000 lbs.
アルキルジチオリン酸亜鉛	4259-15-8	対象外	-	<1%	更なる詳細については規制を参照
亜リン酸アリアル	101-02-0	対象外	-	<0.1%	更なる詳細については規制を参照
無水マレイン酸	108-31-6	対象外	-	<10 ppm	5000 lbs
フェノール	108-95-2	第一種	349	<1 ppm	1000 lbs
酢酸ビニル	108-05-4	第一種	134	<1 ppm	5000

SARA 311/312 危険有害性分類

急性健康危険有害性	無し
慢性健康危険有害性	有害性リストに記載されているトルエン (<0.01%) を含む製品
火災危険有害性	無し
圧力危険有害性の突然の解放	無し
反応性危険有害性	無し

CWA (水質汚染防止法)

この製品には、水質汚染防止法 (40 CFR 122.21 and 40 CFR 122.42) に従い汚染物質として規制対象となっている物質は全く含まれていない。

化学物質の名称	CWA - 報告対象量	CWA - 毒性汚染物質	CWA - 重要汚染物質	CWA - 危険有害物質
アルキルジチオリン酸亜鉛 4259-15-8		X		

CERCLA

化学物質の名称(CAS 番号)	種別	管理番号	報告対象量	混合物の必然的解放
トルエン (108-88-3)	第一種	300	1000 lbs.	> 34 million lbs.
無水マレイン酸 (108-31-6)	対象外	-	5000 lbs.	> 2.3 10 億 lbs.
フェノール (108-95-2)	第一種	349	1000 lbs.	> 21 億 lbs.
酢酸ビニル (108-05-4)	第一種	134	5000 lbs.	> 150 億 lbs.
キシレン (1330-20-7)	第一種	1-103	100 lbs.	>800,000 lbs.
エチルベンゼン (100-41-4)	第一種	53	1000 lbs.	25Million lbs.

米国の州による規則

リフォルニア州住民投票事項 65

警告：この製品には、カリフォルニア州において、先天性異常あるいは生殖障害の原因物質として認められている物質が含まれています。

トルエン

ベンゼン

警告：この製品には、カリフォルニア州において、発がん性のあることが確認されている物質がふくまれています。

ベンゼン

アクリル酸エチル

エチルベンゼン

米国知る権利に関する州規則

化学物質の名称	ニュージャージー州	マサチューセッツ州	ペンシルベニア州	カリフォルニア州	ミネソタ州	ロードアイランド州
アルキルジチオリン酸亜鉛 4259-15-8	X		X			
キシレン 1330-20-7	X	X	X	X	X	X
エチルベンゼン 100-41-4	X	X	X	X	X	X

発がん性による分類法

EPA 環境保護局

TLV

キシレン: I

エチルベンゼン: D

キシレン: A4

エチルベンゼン: A3

適用法令

消防法：危険物・第4類引火性液体・第4石油類，危険等級Ⅲ危険物

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)：非該当

労働安全衛生法：名称等を通知すべき危険物及び有害物

(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)

毒物及び劇物取締法：非該当

廃棄物の処理及び清掃に関する法律：産業廃棄物

水質汚濁防止法：油分排出規制

海洋汚染防止法：油分排出規制

下水道法：鉱油類排出規制

道路法： 施行令 第19条の13(通行制限物質)に該当しない。

輸出貿易管理令： 別表第1、16項(キャッチオール規制) 第5部

第27類 HSコード(輸出統計品目番号、2015年7

船舶安全法、危険物船舶運送および貯蔵規制：危険物に該当しない

航空法：危険物に該当しない

16. その他の情報

<u>NFPA</u>	健康危険有害性 1	可燃性 1	不安定性 0	物理的特性および化学的特性 -
<u>HMS</u>	健康危険有害性 1	可燃性 1	物理的危険有害性 0	個人用防護 X

改訂に際しての注記 利用可能な情報は無い

労働安全衛生法（OSHA）で要求されているラベルに関する情報： 危険物および知る権利に従って、輸送時に添付されるラベルや船荷証券、または送り状の該当箇所にはOSHA危険物注意が記載されています。

本書に記載された情報は、信頼できる情報源から収集したものであり、売主の知り得る限り、正確かつ最善のものである。しかしながら、売主は本データの表現や適用および市販性に関する正確度、並びに本製品を使用した結果に関して、いかなる保証も行わない。売主は、買主もしくは第三者への傷害およびすべての不動産損害に関して責任を負わないものとする。それらのリスクは、すべて買主の責任となる。

免責事項

この安全データシートで提供した情報は、発行日において我々が知る限り、あるいは情報の及ぶ限り、また信ずる限りにおいて、正確なものである。

安全データシートの情報は、安全な取り扱いや使用、工程、保管、輸送、廃棄及び放出におけるガイドラインとして作成されたもので、補償や品質に関する仕様書と考えるべきものではない。

その情報は、指定された特定の物質にのみ関係しており、そうした物質がその他の物質と組み合わせて使用されたり、他の工程において使用されたりした場合には有効ではない可能性がある。

ただし、文書で明示された場合は例外とする。

以下余白